

「農福連携推進東北ブロックセミナー」を開催しました

東北地域の持続的な農福連携の取組の定着に資するため、令和5年2月20日(月)に東北厚生局及び宮城労働局との共催による「農福連携推進東北ブロックセミナー」をオンラインで開催しました。

本セミナーには、農業経営体、福祉サービス事業所、行政機関など約80名の皆様にご参加いただき、基調講演、行政からの施策紹介、取組事例の発表の後、出席者による意見交換会で締めくくりました。

【基調講演】

テーマ：「農福連携：社会福祉法人の公益的な取り組みから」

講師：公立大学法人 岩手県立大学 社会福祉学部 教授 宮城好郎氏

限られた時間の中で、社会福祉法人制度の概要、農福連携の持つ多様性やイノベーション、教育現場での農福連携等について講演いただき、最後に現在の農福連携における課題について提言いただきました。



【施策紹介】

東北厚生局、宮城労働局、東北農政局からそれぞれの省庁が所管する施策等について紹介しました。

東北厚生局：工賃向上計画支援等事業特別事業、地域支援事業交付金・重層的支援体制整備事業交付金など

宮城労働局：障害者雇用の基礎知識

東北農政局：農山漁村振興交付金

【取組事例発表】

①「社会福祉法人 誠友会」 理事長 苫米地義之 氏（青森県おいらせ町）



農福連携に取り組んだこれまでの経緯、障害者の雇用状況、働きやすい環境づくりに工夫している点などについて発表していただきました。

② 「非営利型一般社団法人かたつむり」 所長 大西智史 氏（岩手県大船渡市）



発表では、「農福連携ってなに」から始まり、農福連携における農業側、福祉側それぞれの課題や具体例、連携の際のポイントを紹介いただきました。

【意見交換会】

岩手県立大学の宮城教授をコーディネーターにセミナー参加者で「やってみよう農福連携」と題して意見交換を行いました。



以上